

# 【住民説明会】 篠岡地区学校再編計画（案）

## ～しのおか学園構想～

### ○背景

篠岡地区では、篠岡小学校（明治42年）と、篠岡中学校（昭和22年）の開校後、長らく1小学校1中学校体制でしたが、桃花台ニュータウンの開発等に伴う児童生徒数の急増に対応するため、分離開校を繰り返してきました。

しかし、全国的な少子高齢化の影響に伴い、桃花台地区を中心に人口減少傾向が強まり、各学校の児童生徒数は大きく減少し、令和7年現在、学年1学級（クラス）の学校が複数見られ、令和15年には**すべての小学校**が1学年1学級となる見込みです。

加えて、一部の学校施設においては築年数60年を経過するなど、建て替えを検討する時期がすぐそこまで来ています。

小学校	令和7年度						令和15年度					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
篠岡小	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1
桃ヶ丘小	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
陶小	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
光ヶ丘小	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
大城小	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1

中学校	令和7年度			令和15年度		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
篠岡中	2	2	2	1	1	1
桃陵中	4	3	4	2	2	2
光ヶ丘中	3	3	2	2	2	2

### ○しのおか学園構想とは

こうした現状や歴史的な背景を踏まえ、篠岡地区における学校再編においては、篠岡一帯を一つの学びの場（しのおか学園）にとらえ、地域の特色やこれまでの学校区の枠を超えて、篠岡地区の小中学校の連携を強化し、一貫した教育理念のもと、義務教育9年間の連続した学びの充実を目指します。

また取組にあたっては、**段階的な再編**とし、まずは**既存の校舎**を利用した再編を早期に実施します。

#### 第1期再編

現在の5小学校、3中学校のうち、**桃ヶ丘小、光ヶ丘小、桃陵中、光ヶ丘中**の校舎を活用し、**2小学校、2中学校**に再編します。再編時期は**令和9年4月**を予定しています。

#### 第1期 再編後の児童生徒数・学級数の推計（R9年度）

<小学校> 1学級あたりの平均児童数：30.2人

(仮称) しのおか学園	1年				2年				3年				4年				5年				6年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
桃ヶ丘小	83	45	38	3	69	37	32	2	67	32	35	2	84	47	37	3	99	49	50	3	118	65	53	4	520	17
光ヶ丘小	61	31	30	2	79	39	40	3	79	43	36	3	100	41	59	3	85	45	40	3	94	56	38	3	498	17

<中学校> 1学級あたりの平均生徒数：33.6人

(仮称) しのおか学園	1年				2年				3年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
桃陵中	130	70	60	4	117	56	61	3	123	64	59	4	370	11
光ヶ丘中	105	47	58	3	126	65	61	4	131	56	75	4	362	11

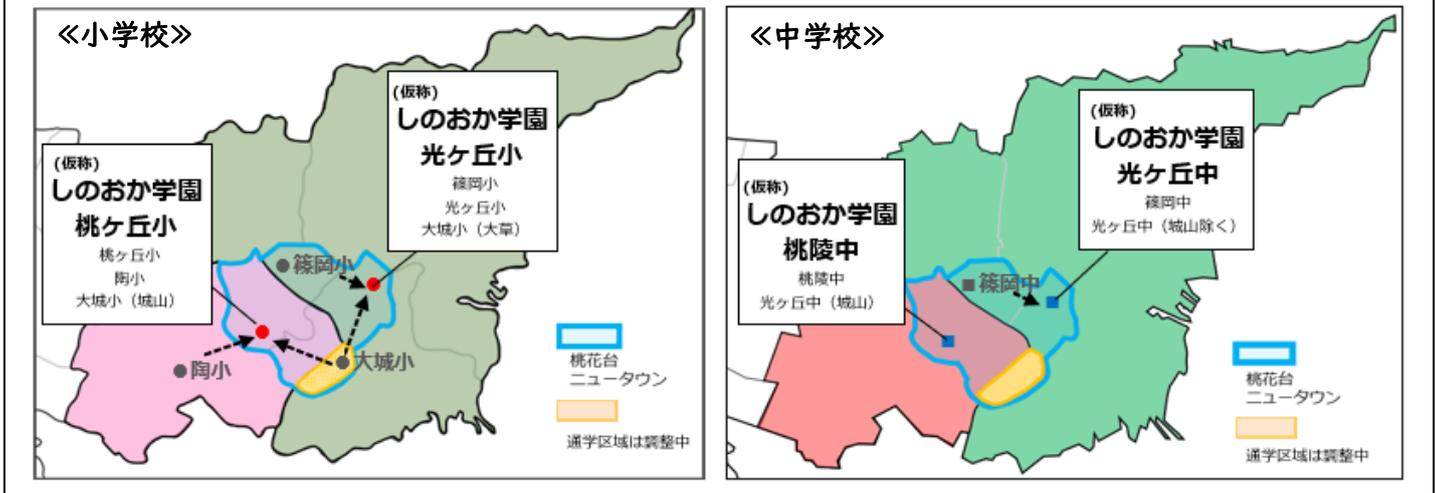
※ 人数は特別支援学級の児童生徒を含む  
 ※ 学級数は特別支援学級を除く  
 ※ 小学校の全学年及び中学校の1年生は35人学級、  
 中学校の2・3年生は40人学級で算出

#### 第2期再編

第1期再編後の児童生徒数の減少状況等を勘案しながら、現在の**篠岡小、篠岡中**の敷地内に**1小学校、1中学校**の体制とあわせて、「**小中一貫校**」の新設を検討します。

## ○第1期再編後の学校区

小学校と中学校が隣り合うことで、通学区域を一致させ、小学校から9年間、たくさんの仲間とともに学び合い、より切磋琢磨できる環境が整うとともに、「小中連携の強化」や「児童生徒間の交流促進」等がより図られることで、いわゆる「中1ギャップ」の緩和につながると期待しています。



## ○第1期学校再編における現在の検討事項（抜粋）

### 1. 学校名《令和7年度中に決定》※第1期再編における

- ・学校再編の趣旨（しのおか学園としての再スタート）を踏まえ、新たな学校名を検討中
- ・今後、第4回考える会（R7.10.11開催）で案をお示し、令和7年11月頃に地域住民に周知

### 2. 校章《R8.12頃までに作成》※しのおか学園共通

- ・学校名決定後、公募等の方法を用いて複数案を作成し、令和8年12月頃までに決定していく予定
- ・作成した校章は「しのおか学園（2小2中）」共通のものとして運用していきます。

### 3. 校歌《R9.4以降に作成》※しのおか学園共通

- ・学校再編後（R9.4以降）、児童や保護者等からフレーズの募集等、具体的な作成方法を検討
- ・作成した校歌は「しのおか学園」共通のものとして運用

### 4. 校則《大枠はR8年度中に作成》

- ・基礎的な部分については、学校再編前に、既存の校則等も踏まえつつ、具体的な作成方法を検討
- ・細かい部分は、学校再編後（R9.4以降）に、児童生徒との協働により作成

### 5. 学校用品（体操服やネクタイ/リボンなど）《R8.1頃に決定》

- ・引き続き、既存の指定品が利用できることを前提に各学校のルール等も踏まえ、新たにルールを設定

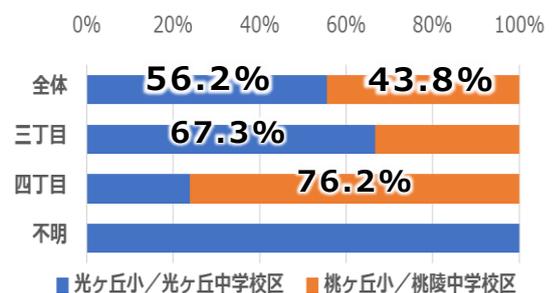
### 6. 中学生の部活動

- ・3中学校間（篠岡、桃陵、光ヶ丘）において地域連携（拠点校部活動）を実施していることから、再編後も2中学校が連携し、篠岡地区全体で活動を実施

## ○城山三、四丁目への通学区域に関するアンケート結果

再編後の通学区域の狭間にある「城山三丁目」と「四丁目」の保護者等に対して、通学区域に関するアンケート調査を実施しました。

1. 対象 城山三、四丁目の中学生以下の子（未就学児含む）を持つ世帯の保護者※R7.6.23時点
2. 期間 令和7年7月25日～9月1日
3. 回答率 73/113世帯（64.6%）



## ○スクールバスの基本的な考え方

第1期・第2期ともに小学生を対象にスクールバスを導入します。

スクールバスは、実際の通学距離が2km以上となる児童に加え、地域の特性（学校までの高低差等）に配慮し、右図のエリア内の児童を対象とします。

### 1. 運行日

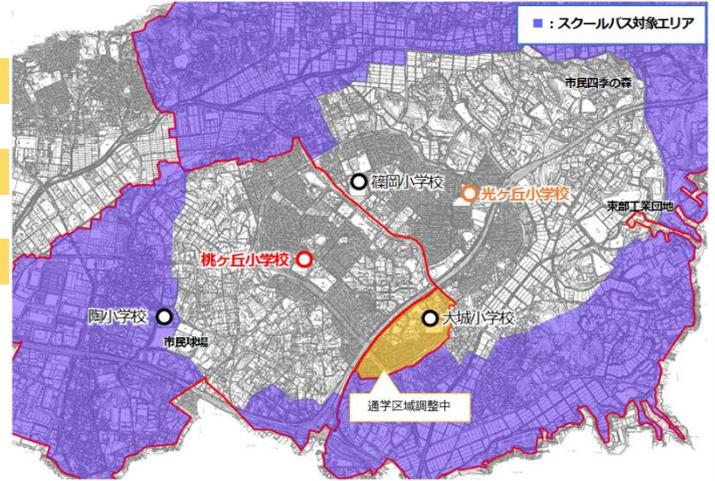
学校の登校日（学校行事等を含む）

### 2. 運行数

登校時1便、下校時最大3便

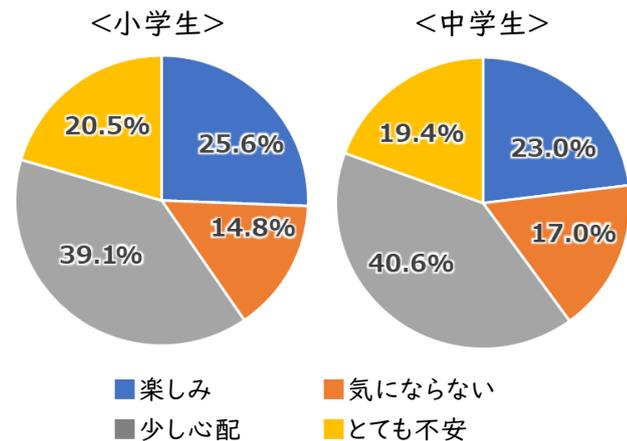
### 3. 対象エリア

篠岡地区は他地区に比べて、起伏に富み、特に池之内や上末、下末地域において、学校までの高低差が50mを超える箇所も存在することなどから、一律の通学距離に加え、地域毎に2km未満であっても対象エリアとしています

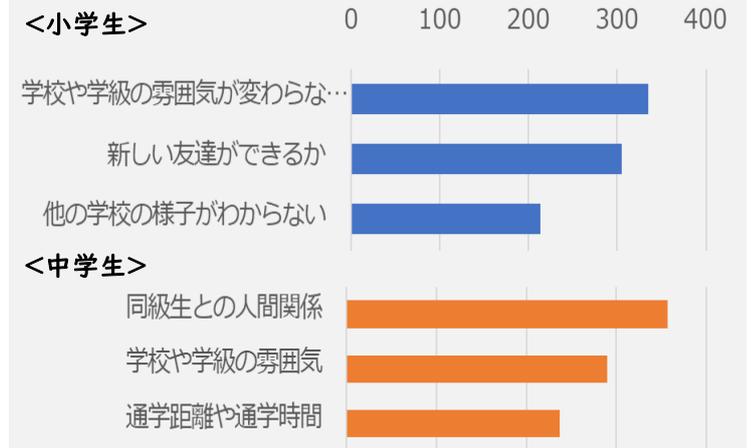


## ○児童生徒向けアンケートの主な結果

### Q. 学校再編についてどう感じるか



### Q. 学校再編を「不安」に感じる理由



## ○保護者向けアンケートの主な結果

### Q. 児童生徒数の減少により、今後、1学年1学級の学校が増えていくことについてどう思うか



# 篠岡地区の学校再編に関して、よくいただくご質問

## ◆質問1

なぜ令和9年4月に第1期の再編を行うのですか？

### ◇回答1

子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長していくためには、一定の学校規模が必要だと考えています。

今日の児童生徒数の減少状況に鑑みると、可能な限り早期に学校再編を行う必要があり、最短で実施が可能な令和9年度としました。

■R9以降の新生は全校1学級の見込み

	(R10/1年)				R9/1年				R9/2年			
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数
篠岡小	34	21	13	1	21	14	7	1	34	16	18	1
桃ヶ丘小	30	12	18	1	31	21	10	1	23	10	13	1
陶小	18	7	11	1	28	11	17	1	25	15	10	1
光ヶ丘小	33	13	20	1	29	10	19	1	40	21	19	2
大城小	26	9	17	1	35	20	15	1	26	14	12	1

## ◆質問2

第2期の学校再編は具体的にいつから行うのですか？

### ◇回答2

現時点での出生数による児童生徒数の推計では、1小1中への再編は学校規模が大きくなりすぎる学校が出てくるものと考えております。

第2期については、第1期の取組の検証に一定の期間が必要であること、また学校の建て替えに最低でも6年以上かかることを前提に、引き続き、児童生徒数の推計から学校の適正規模(1校あたり12学級~)を下回る状況や建替えを要するほどの老朽化が見込まれた場合に実施します。

## ◆質問3

再編後の通学路やスクールバスの停留場、運行時刻等はいつわかるのですか？

### ◇回答3

年度内に、通学路案と併せて、スクールバスのバス停や運航時刻等の案をお示したうえで、保護者や地域の皆様のご意見を伺いながら決定していきます。

## ◆質問4

各学校の特色や伝統はなくなってしまうのですか？

### ◇回答4

各学校での取組のすべてを継承することは、学校現場の負担から難しいと考えています。

今回の学校再編は「しのおか学園」としての再スタートであり、各校が培ってきた魅力的な取組や住民の皆さんとの絆を未来に繋げられるよう、継承すべき文化は大切にしながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

## ◆質問5

児童クラブはどうなるのですか？

### ◇回答5

学校再編後も従来通り小学校単位での児童クラブの配置とするため、学校再編に併せて、児童クラブも再編されることとなります。また、再編後も校舎内で運営を行うことを前提としています。

## ◆質問6

再編後の学校跡地はどうなるのですか？

### ◇回答6

学校は、スポーツや防災など地域の重要な拠点であることから、その機能維持のため、原則、体育館やグラウンドは残していく必要があると考えています。

ただし、校舎等は、多額の維持管理費をかけてまで転用する施設の計画が無いのであれば、原則解体し公共施設に係る経費の縮減に努めていきたいと考えています。

学校再編に関するQ&Aはホームページでも公開しています

[https://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kyoiku/kyouikusoumu/303/shinooka\\_gesaihen/48603.html](https://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kyoiku/kyouikusoumu/303/shinooka_gesaihen/48603.html)

